

# 切磋琢磨

我孫子市立湖北小学校  
第6学年・学年便り  
2019.9月号

## ☆2学期が始まりました☆

長い夏休みが明けて、蝉の声が響いていた校舎にも、子ども達の声が戻ってきました。さて、2学期には修学旅行をはじめ、音楽発表会、陸上競技大会、持久走大会、都内見学などの多くの行事があり、子ども達が活躍する場面が多くあります。中学校進学に向けて、一人一人の力を更に付けていきたいと思ひます。

まずは9月の修学旅行のために、実行委員や各係で準備を進めていきます。事前準備をきちんと行い、小学校生活最後の思い出に残る旅行にしたいと思ひます。2学期も担任一同努力してまいりますので、ご協力をお願いします。

## 9月の生活目標

◎元気なあいさつをして、生活のリズムをつくろう。  
○さしすせそじで2学期のスタートを気持ちよくしよう。  
・①挨拶をする、②時間を守る、③掃除にしっかり取り組むことを柱に、生活全体のリズムを取り戻します。 ・掃除の仕方をもう一度確認します。

## 9月の学習予定

<国語> 心を見せる言葉 熟語の意味	<算数> 比と比の値 拡大図と縮図	<社会> 町人の文化と新しい学問 明治の国づくりを進めた人々	<理科> 月と太陽 水よう液の性質
<体育> ハードル走 ティーボール マット運動	<音楽> 和音の美しさを味わおう	<図工> 県展への取り組み	<家庭科> 生活を楽しくしよう ソーイング
	<総合学習> 日光についてまとめよう	道徳 礼儀・修学旅行に向けて	

## 9月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
2 始業式 11:30 下校	3 3時間日課 11:50 下校	4 給食開始 委員会活動	5 代表委員会 発育測定	6 避難訓練	7	8
9 夏休み作品展 (~13日)	10	11 おはなしたまご クラブ活動	12	13 修学旅行 1日目	14 修学旅行 2日目 市内科学作品展 (アビスタ 9:00~18:00)	15 市内科学作品展 (アビスタ 9:00~14:00)
16 敬老の日	17 6年生 振替休業	18 沼っ子タイム	19	20	21	22
23 秋分の日	24 青空学級 航空写真撮影日	25 学習参観(3・4 校時) おはなしたまご 沼っ子タイム	26 集金日	27 短縮5時間日課 14:50 下校	28	29
30						

## お知らせとお願い

今月の集金は、2000円です。  
詳しくは裏面を参照してください。

### ○修学旅行について

持ち物や詳しい日程については、後日配布するしおりの方でご確認ください。また、9月7日(土)から6日間「個人健康チェック」を毎日行うよう、宜しくお願いします。

### ○夏休み作品展について

今年度は、夏休み作品展が9月9日(月)から9月13日(金)までの5日間です。6年生の展示場所は、4階の算数ルームです。(15:30~16:30)

### ○持ち物について

2学期の授業が始まります。教科書やノート、筆記用具、絵の具など、必要な用具の確認と記名を宜しくお願いします。

### ○家庭科作品の制作について

家庭科ではトートバッグを制作します。今回は、全員分を一括で注文し、教材費で集金させていただきます。指定の教材から、好きな柄や色を児童に選択させます。

9月下旬頃から制作を始める予定です。裁縫セットの中身の確認をお願いします。(刺繍糸が足りない場合は補充をしてください。トートバッグ作りで使います。)

# 2学期の集金について

○連絡メールの登録をお願い致します。(修学旅行の連絡でも使います。)

ワークテスト (国語・算数・社会・理科)	290 × 4 = 1,160円
国語ドリル 下	490円
算数ドリル 下	490円
夏ドリル	350円
図工 (人の芯材)	280円
紙粘土	108円
県展枠	40円
書き初め手本, 用紙	200円
家庭科 トートバッグ代	760円
合計	3,878円

2学期の集金3,928円を3回に分けて集金します。

9月 2000円    10月 1000円    11月 878円

9月の集金は 2000 円となります。よろしくお願ひします。

※10月からの消費税増税に伴い、教材費が変更となる場合もあります。

## 親子のコミュニケーションを大切にしよう

人は、生まれてからいろいろな人と接することでコミュニケーションの力をつけていきます。思春期の子どもだからこそ、親と子の間で意識して会話をすることが必要になります。  
普段のやりとりをちょっと工夫してみませんか？

### ○こんなところを意識して

#### \*言葉と表情は合っていますか？

「目は口ほどにものを言う」ということわざがあります。言葉を発した時、それにふさわしい表情をするよう心がけることで、親としての考えや気持ちがはっきり伝わります。

\*「言わなくてもこのくらいはわかってくれるだろう」と思っていないませんか？

言わなくても分かり合える関係は何もしなくてもできるものではありません。言葉にしないと伝わらない時もあります。日常のあいさつや他愛のない会話を大切にしてください。

### ○子どものメッセージを受け止める

#### \*態度と言葉が合わない表現はありませんか？

時と場にとく合わない発言や行動に出会ったら、「何か言いたいことがあるのかな？」とちょっと気をつけてみましょう。大丈夫といながら声が沈んでいることもあります。言葉でうまく言えない時には、体の不調等で訴えることもあります。

#### \*正面から受け止めていますか？

親として気になる言動があったら、「自分がどんなふう感じているか」を伝える事が大切です。思春期はとくく理屈っぽくなりがち

です。そんなとき真剣に受け止めて、大人としての意見を言ってみましょう。そのことが、親にとって子どもがかげがえのない存在であることを伝えることにもなります。また、真剣に話し合えたら、話し合えたことについての親としての感想(例:「ずいぶん深く考えているのに感心した」など)を添えるよいでしょう。

### ○こんな時は、こんなふうには言ってあげたら？

#### \*ほめる時

大げさにならないように事実をほめることが基本です。子どもの努力や取組の姿勢などを認めて言葉をかけましょう。親としての感想をさり気なく短い言葉で伝えるのがポイントです。

#### \*叱る時

こちらも事実を大げさにならないようにすることが大切です。よくない点を簡潔に伝えましょう。その行為がよくないのであって、本人を否定するような言い方(例:「全く何やってるのかしら。」「だから～なんだ」など)にならないように気をつけましょう。

人は失敗しながら成長していくものなので、失敗が次へのステップになることを話してあげられるとよいのではないのでしょうか。

参考：栃木県教育委員会より

## 言葉は心の表れ

5,6年生でも平気で「ウザイ」「キモイ」「死ぬ」という言葉を使っている子がいます。子供達の心が不安定なんですね。とても可哀想です。大人が何とかしてあげなければいけません。言葉にはその人となりが見られるといわれています。

相手の手の気持ちを推し量る能力や美しいものとそうでないものを判断する目が育っていないのです。逆に美しい言葉は人を和ませます。児童文学の名作と言われている作品はそれはそれは美しい日本語に訳されています。読んでいるだけで普段の自分の言葉が恥かしくなるほどです。

5,6年生の柔らかい頭と心にはたくさん美しいものを見せてあげましょう。5,6年生になると興味がはっきりと現れてくる頃です。ピアノが好きなら演奏会に、絵が好きなら美術館に、お笑いが好きなら演芸場に連れて行ってあげましょう。そして鍛錬を積んだ人の生き様をしっかり見せてあげるのです。

魂がこもったものには人を惹き付ける美しさがある、言葉もしかりだと教えてあげてください。5,6年生ならばその意味を理解し「ウザイ」という言葉を聞いたとき(醜い)と気付くことでしょ。一度気付くともうめったなことではその言葉を使いません。自分が醜くなると分かるから。

「そんな言葉使ったらダメ。」ということは簡単ですがそれでは子供の心に届きません。逆に本当に美しいものを教えてあげることが大切です。心の美しさが表れるような言葉、大人も意識してゆかねばなりませんね。

参考：子育てママ悩み解消！

### 「怒る」と「叱る」の違い

#### ■「怒る」の語源

「両手をしなやかに重ね、ひざまじく女性」の象形

「手」の象形

「心臓」の象形

■「感情に力を入れる事」が原義

■基本的に「自分の感情」を表現した言葉

■「相手に、何を、どのように伝えるか」ということは、語義に入っていない！

#### ■「叱る」の語源

■口+音符「七」の会意形声文字。「鋭い声を発すること」が原義。

■基本的に「相手に何かを伝える様子」を表現した言葉

■現代では「目下の者の言動のよくない点などを指摘して、強くとがめる」等の意味合いで使用されている。

参考 <http://okjiten.jp>